

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる.ぷら倶楽部 1月

2015.1.1 ニュースレター第 54 号

体験会レポート!

『押し花いろいろ』12月6日(金)~12月14日(日)4回実施



はがき・カード・プレート・マグネットなど、なにを作るか迷ってしまいますね!



使う草花も、色・形・大きさ・バランスを考えていると夢中になって時間を忘れてしまうほどです

12月のギャラリー展示の様子

◎押し花グループ夢作品展 (12月2日~12月14日)



よく見るとウミガメがいます!



こちらは「親子の絆」写真入りです



押し花グループ夢

寺沢美由紀さんより

“クリスマス“をテーマの中心に自然物を生かした個性あふれる作品をお楽しみいただけましたでしょうか。

皆様のお気に入り・ご感想を聞かせていただき新たな制作の励みとなりました。ありがとうございます。

※次ページに続きます→

12月のギャラリー展示の様子

◎みんなのクリスマス作品展 (12月17日～12月25日)



高さ2mを超えるツリー!



スタンドグラス



ハート形の押し花



まごころホームの皆様のリース



カルトナーージュのお家



プリザーブドフラワーの花かご



押し花の額絵サンタ



押し花のキャンドル



貼り絵のサンタ雪だるま



押し花の額絵リース



はなみちゃんサンタ



フェルトのタワーケーキ



サンタのおじぞうさま



はなみちゃんイルミネーション切り絵



8歳の女の子がママと作ったよ

地域づくり支援員レポート

ゆる. ぷらを拠点に活動する「地域づくり支援員」の巡回レポートです。

1. 第18B区防災訓練レポート 11月1日(土)

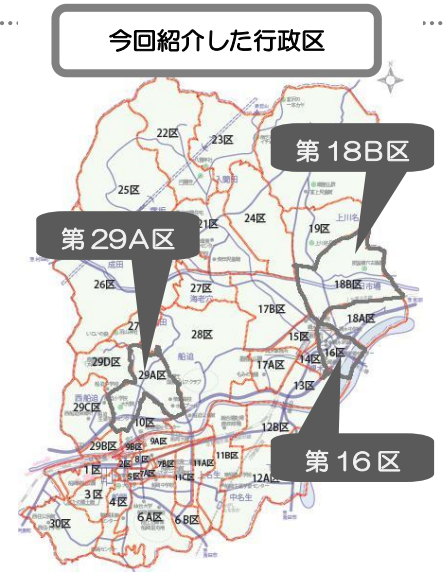
「ゲリラ豪雨」と言われる集中豪雨や台風などにより全国各地で土砂災害が発生して尊い生命や財産が失われています。第18B区では、土砂災害の防止及び軽減、区民の防災意識の高揚を図ることを目的とし、警戒避難体制を確認する防災訓練が行われました。

訓練には、住民の皆さん約90名が参加（世帯数は約130世帯）、土石流の発生が予想されるという設定で、関係機関との情報授受、担当者間の情報伝達、事前避難による人的被害を防ぐという訓練となりました。

訓練では、災害対策本部から各防災班長への避難指示発令、区民が集団で避難所である第18B区集会所への避難が行われました。避難完了後には柴田消防署員によるAED使用講習・実技と負傷者の救出方法、参加者による発電機の試運転が行われ、並行して婦人防火クラブによる炊き出し訓練が行われました。

訓練終了後、櫻井区長さんからは「所定の目的が達成できました。万一の際は、避難困難者への支援をお願いします。」との総括がありました。参加した方からは、「この地区は沢が多く、大雨が降る度に不安になります。今回の訓練は大変有意義だったので次回は家族全員で参加します。」との話がありました。

実際の災害時には、まずは自らの命は自らが守る必要があります。災害に対する心構えを身につける機会となる防災訓練、避難訓練には是非参加していただきたいものです。



2. 第16区「健康オリンピック2014」 11月9日(日)

町内では、地域の皆さんの健康保持・増進を図るために健康づくりに取り組む行政区が増加していますが、第16区では町、仙台大学とコラボして「区民交流会ー健康オリンピック2014ー」が開催されましたので、その様子を紹介します。

交流会は、仙台大学の教職員の方や学生の皆さん（計26名）による人体成分の過不足を評価する検査（インボディ測定）・骨密度測定、健康指導などがあり、約90人の参加者は真剣にアドバイスを聞き、健康体操の体験、ゲームや競技に挑戦しました。骨の中にあるミネラル成分の計測や体を構成する基本成分の過不足を評価する検査が行なわれた「測定コーナー」は受検者で行列となり関心の高さが伺われました。

「健康指導」では、骨や筋肉が衰えて要介護状態になる「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について」と「腰痛と健康について」の講話と運動指導があり、また、バランス能力の限界に挑むゲーム等4種類のゲームや「健康オリンピック」の玉入れ、シッティン

グバレー（大型風船を使い、座って行う競技：ルールはバレーボールと同様）は皆さんの積極参加で大いに盛り上がりました。



参加された女性の方からは「友人に誘われて初めて参加しました。若い時から一生懸命に働いて来たので今は肩や膝が痛んでいる。日ごろはテレビを観ながら横になっていることが多くなった。久しぶりに体を動かし楽しかったので、元気であれば来年も参加します。」との話がありました。健康保持・増進を図るためには、運動習慣の定着が重要だといわれています。健康づくり活動などへの参加を契機に健康づくりを実践してはいかがでしょうか。

3. 第29A区 ミニ文化祭「おらほの宝物みてけ祭」 11月30日（日）

第29A区において、奥州街道「船迫宿」に関する絵地図や地域の皆さんが持ち寄った宝物の展示、餅つきなどを行うミニ文化祭の様子を紹介します。

《奥州街道「船迫宿」絵地図展示》

集会所内には、絵地図作成委員会15人で作成した奥州街道「船迫宿」絵地図を展示。奥州街道沿いにあった船迫地区は、大正時代の白石川の大改修、昭和に入っては30年代の二本杉団地、40年代に入って船迫団地造成と柴田町の中でも大きな変遷を遂げた地域です。前から住んでいた方々と、新しく船迫団地に入居した方々との融合・親睦を図り、その歴史を共有し、子ども達にも郷土を愛してもらいたいとの思いから作成に至ったとのこと。絵地図作成の過程では、各方面からの資料、地域の方々からの聞き取りなど行って作成したが、一部不明な点は「イメージ」として作成しているため、今後は精度の高いより良いものを目指していきたいとのことでした。



《各家庭における宝物展示》

「習字、絵画コーナー」「農産物コーナー」「懐かしのコーナー」「手工芸品コーナー」「盆栽コーナー」、農耕具、養蚕具、あけびつる籠、編み物、フェルト、折り紙、こんにやく玉、野菜、その他約180点の各家庭の宝物の展示がありました。



《ふる里もちつき隊》

集会所前広場のテントの中で臼と杵での最近には珍しい餅つき隊に依る餅つきが披露され、つきたての「納豆もち」「きな粉もち」が来場者に振る舞われました。私たち支援員二人もご馳走になり、久しぶりに杵つきの美味しい餅を頂きました。

これから2回、3回と回を重ね、「ミニ文化祭」が区民交流・世代間交流の場として定着して頂きたいと思いました。

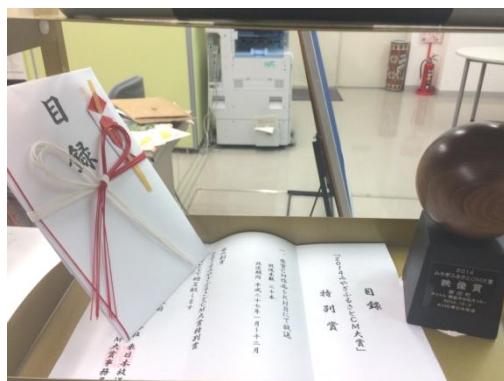
地域づくり支援員 本郷 良治 大内 進

まちづくり推進センター情報

【KHBみやぎふるさとCM大賞 映像賞を受賞！】

ゆる.ぷら倶楽部でも紹介した町の魅力を映像で伝える団体「アットしばたふるさとCM制作団」によって制作された柴田町のCMが、KHBみやぎふるさとCM大賞の映像賞に輝きました。審査会は平成26年12月2日に行われ、ラジコンヘリに付けたカメラからの映像を効果的に用いた点などが評価されました。

館山の平和観音像の目線から満開の桜を臨むなど、中々見ることのできないシーンにあふれ、町内で活躍する老若男女の皆さんが大勢出演した、まちの魅力を存分に伝える内容です。



受賞トロフィーはゆる.ぷらに展示中です



東北リコーでの撮影の様子

同CMは、東日本放送により受賞の副賞として、年間20回の無料放送が実施されます。また、ゆる.ぷら施設内にて放映もしているほか、町およびゆる.ぷらのホームページで視聴することも出来ます。

なお審査会の模様は、1月3日午後3:55より、東日本放送にてテレビ放送されますので、ぜひこちらもご覧ください。

しばた100選 伝えたい・残したい・自慢したい、しばたの宝もの 募集期間延長！

しばた100選事業は「伝えたい、残したい、自慢したい、しばたの宝もの」をテーマに、地域資源100点を募集・選定の上、平成28年度に柴田町が町制60周年をむかえるのに合わせて発表します。

このしばた100選ですが、好評につき**募集期間の延長**をすることとなりました。

有名でなくとも、写真が無くとも、一人何通でも応募可能です。身近にある地域の宝ものを教えてください。

皆さんが愛着を持つ場所や伝統行事、歴史・自然・郷土食・行事や風習・楽しいスポットなど、身近な地域ご自慢の宝ものを、ジャンル問わずに募集しています。地域のことをもっと知り、自慢し合っ楽しむことは、それらを未来へ残し、伝え、育てるきっかけにもなります。



募集期限／2月15日(日)まで **メール応募先**／plan@town.shibata.miyagi.jp

応募方法／全戸配布した応募用紙に記入し、まちづくり政策課または町内公共施設の応募箱にご応募ください。応募用紙は各公共施設にも設置中です。また、任意の様式による提出やメール応募も受け付けます。

地域づくり座談会

～地域における健康づくり活動についての意見交換会～

◆各地区独自の取組みについて情報交換◆

平成26年12月16日(火)、まちづくり推進センター“ゆる.ぷら”一を会場に、各地区の地域づくりの取組みについて意見交換を行う「地域づくり座談会」を開催しました。今回は第2回目の開催となり、現在各地区で取り組まれている健康づくり活動をテーマとして取り上げました。座談会には19名の参加があり、活発に意見が交わされました。



◆事例紹介 ～楽しみながら健康に～◆

座談会では、冒頭に特色ある健康づくり活動に取り組んでいる2つの地区から事例紹介をいただきました。第16区からは、年に1回「健康オリンピック」と題した、仙台大学、町と連携し、健康状態チェックやスポーツ体験を取り入れた健康づくりイベントの紹介がありました(今号の支援員リポートを参照)。参加者は、大学生との交流を通し、楽しみながらスポーツ体験をし、健康づくりへの専門的なアドバイスを受けることが出来たということでした。また、第18B区からは、月1回の健康教室を開催し、講話や体操などを取り入れ、教室開始時に測定した体重や血圧などの数値が、教室終了時にどのように変化するかを楽しむに参加している方が多いとのことでした。



◆意見交換 ～男性の参加があまりない！？～◆

意見交換では、まず健康づくり教室などにかかる経費についての質問がありました。地区の費用負担は16区の事例では数万円程度、18B区の事例では1万円程度でした。これは町との連携や出前講座の有効活用によって地区負担を抑えているとのことでした。また、参加者確保への悩みが出されました。特に健康への関心は女性の方が高く、健康教室への男性の参加が少ない傾向があるということでした。一方で、ある参加者からは、地区で健康づくり活動を行う大きな意味にコミュニティの絆を深めていくことがあり、気軽にそして楽しく集まれる場を作っていくことが大切という意見がありました。

◆各地区間の情報共有を目指して◆

特色ある活動を行っている地区が多くあります。その例の一つとして健康づくり活動があり、今回は、その情報共有を目指して座談会を開催しました。今後も、町では地域支援の一環として各地区の地域づくり活動について、有意義な情報交換ができる場を提供していきます。

明けましておめでとうございます。

冬の道は歩行、自転車、自動車の運転に全員が気をつけなければなりませんね。

寒さがいちだんと厳しい1月に入りましたが、少しずつ夕暮れが遅くなってきているのは救いでしょうか。

まだ年が明けたばかりですが、春が待ち遠しい今日この頃です。 ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00～18:00

<年始と1月の休館日:1日～5日、13日、
19日、26日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

